



# アースドリル工法

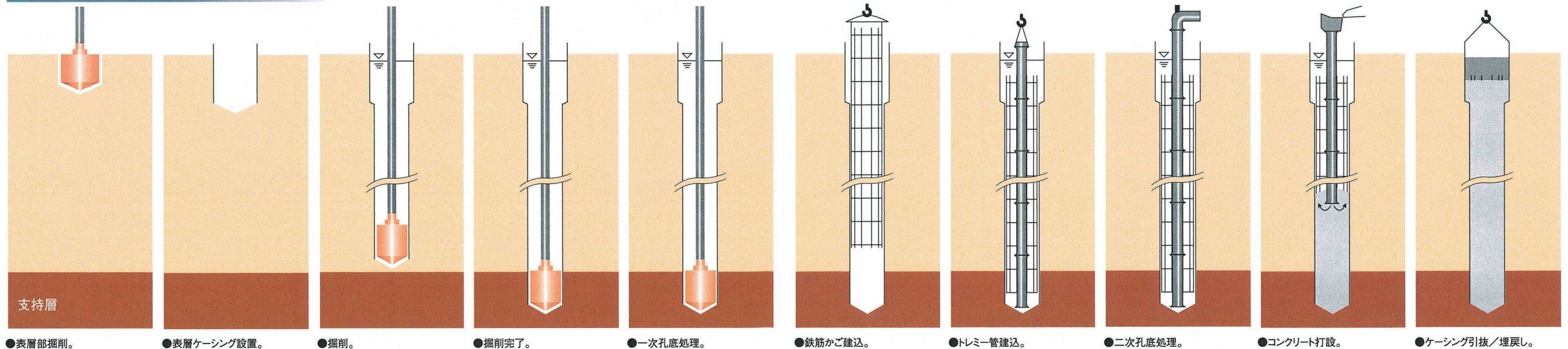
## ■工法説明

アースドリル工法とは、ドリリングバケットを回転させて地盤を掘削し、表層部の孔壁保護はケーシングを用い、以深の孔壁保護は安定液により行いながら所定の深さまで掘削し鉄筋籠の建込み、コンクリート打設を行い現場にて杭を築造する。

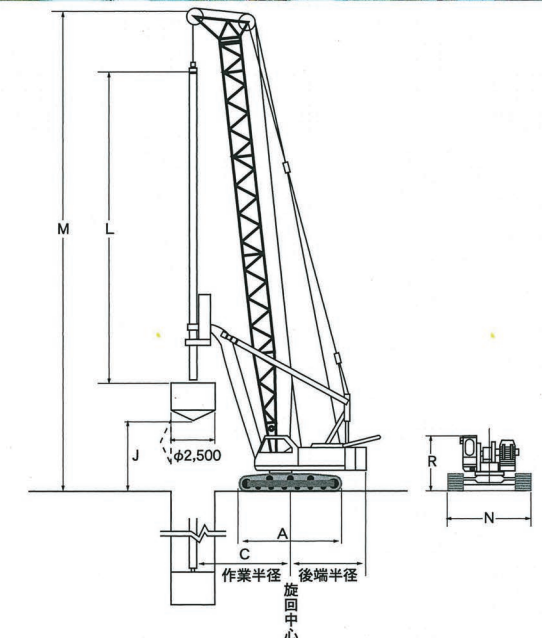
## ■工法の特長

1. 低振動低騒音で施工できる。
2. 機械装置が簡単のため仮設が容易である。
3. 施工速度が早くコストが安い。
4. 敷地境界から杭芯までの施工距離が比較的小さい。
5. 施工敷地が狭くても施工できる。

## ■施工手順



●表層部掘削。 ●表層ケーシング設置。 ●掘削。 ●掘削完了。 ●一次孔底処理。 ●鉄筋かご建込。 ●トレミー管建込。 ●二次孔底処理。 ●コンクリート打設。 ●ケーシング引抜/埋戻し。



機種	寸法	A	C	J	L	M	N	R
DH-350		4,905	4,329	2,500	14,000	20,800	4,010	2,908
ED-4000		4,520	4,246	4,200	12,400	19,746	3,300	3,018
LS-118RH		5,245	4,300	2,415	15,885	28,699	4,210	3,055
SD-610		5,915	5,850	3,370	18,735	28,959	4,862	3,212

(単位mm)